



Wilhelm・Conrad・Röntgen
ヴィルヘルム・コンラート・レントゲン
1895年 X線発見

放射線だより

2024年5月
No. 10 (毎月発行)
担当：鈴木優太

from Radiation House

放射線技術部 NEWS 新しい透視装置が導入されました

キャノンメディカルシステム社製
デジタルX線TVシステム
「Astorex i9」
(アストレックス アイナイン)

検査用途

- ・上部消化管検査
(胃、食道、嚥下造影等)
- ・下部消化管検査
(小腸、注腸、イレウス管挿入等)
- ・ドレナージチューブ等の留置
(PTC・PTCD・PTGBD等)
- ・内視鏡を使用した検査や治療
(ERCP・EST・気管支検査等)
- ・骨折・脱臼等の整復
- ・関節の機能撮影・ブロック注射
- ・腎尿管や膀胱の透視検査
(腎盂・腎尿管造影、膀胱・尿道造影、
尿管ステント留置、腎瘻増設等)
- ・気管支鏡検査
- ・消化管内視鏡検査

前回の装置には、約12年間も当院の患者様のために頑張ってもらいました。
医療の進歩は日進月歩と言われ、日々新しい技術や新しい薬が開発・発売されるのと同じで
医療機器も新しい技術を兼ね備えた装置が登場します。我々、診療放射線技師も装置の特徴
や新機能を理解・学び、その性能を最大限に活かしながら検査に対応しなければなりません。

しかし、1番大切なことは「検査や治療には患者様のご理解とご協力が必要」という事です。
医療従事者と患者様とが同じ方向を向き、歩き出した時に初めて高度な医療技術や最新の医
療機器のパフォーマンスが発揮されます。

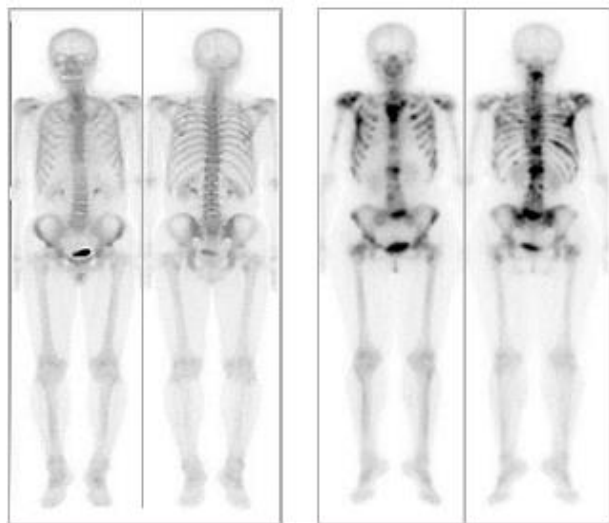
ご不明な点があれば、遠慮せずにお声かけ下さい！



骨シンチグラフィについて



がんが骨に転移するとその骨は代謝が活発になります。骨シンチグラフィで使用する放射性医薬品は、骨の代謝や反応が盛んな部分に集まりやすい性質をもっているため、その薬が出す微量の放射線等特殊なカメラで撮影することで、全身の骨転移の有無や骨の炎症、骨折の診断ができます。



正常画像

骨転移あり

検査の流れ

- ① 薬を注射します。
- ② 薬が全身の骨に集まるまで2～6時間おきます。
- ③ 撮影直前にトイレに行って排尿します。
- ④ ベットの上に横になり撮影をします（40分程度）。

よくある質問

どのくらい被ばくするの？

1回の骨シンチグラフィで約2ミリシーベルトの放射線を受けます。1年間普通に生活しているだけで自然界から受ける被ばくが約2.4ミリシーベルトであるため心配ありません。

待ち時間の間に食べ物は食べていいの？

食事や飲み物の制限はありません。

普段通り自由にお過ごしいただいて問題ありません。

なぜ検査直前に排尿するの？

骨に取り込まれなかった薬は尿と共に膀胱に集まります。膀胱内に信号が取られ他が見えにくくなってしまうため、検査直前に排尿していただいています。

（文責：大山）